

経営体の概要

- ・所在地：北海道中札内村
- ・経営体名：（有）S農場
- ・栽培作物・作付面積：50.3ha（小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類（小豆、えだまめ、さやいんげん））
- ・従業員数：4名（令和5年8月現在）

導入技術

- ・GNSSガイダンスシステム
（（株）ニコンリンブル社製） 5台



●GNSSガイダンスシステムを装着したトラクター

導入経緯

- （有）S農場では傾斜のあるほ場や変形ほ場が多く、トラクターを真っ直ぐに走行させることが困難であった。
- 近隣町での導入農家の実績を踏まえ、平成26年に播種、施肥及び防除作業の効率化のため、GNSSガイダンスシステムを導入し、現在では所有するトラクター5台に装着。

取組の特徴・効果

- 播種作業においては、畦幅を一定に保ち、ほ場全体に無駄なく播種することが可能となった。
- 施肥、防除作業においては、均一の肥料や農薬散布が可能となった。分追肥する作物に対しては、センサー付きISOBUS対応のブロードキャスター＋GNSSにより、無駄な施肥やロスを減らし、**道施肥基準が10a当たり70kgであるのに対し、約50kgと肥料費を削減。**
- ほ場全体に効率的な播種、生育ムラをなくし、多収化を実現。
- H29年度においては、GNSSガイダンスを効果的に活用し小豆（エリモショウズ）において全国トップクラスの収量（10a当たり447kg）、肥料費の削減及び省力化を実現したことから、全国豆類経営改善共励会最高賞の農林水産大臣賞を受賞。

○小豆の施肥

	標準施肥量	窒素（追肥）	リン酸	加里
南真野農場	50kg	2.5(3.0)	13.1	6.5
北海道施肥基準	70kg	4.0(5.0)	200	80
対比	-	40%程度削減	35%程度削減	20%程度削減

センサー付きブロードキャスター＋GPSガイダンスの組み合わせにより、正確な散布幅と設定量で肥料散布ができるようになり、無駄な肥料やロスを減らしている。

- 今後は、ドローンを活用した施肥マップの作成と施肥マップに基づく追肥の導入を検討している。